

2024年問題に係る建設・運輸業界の負担軽減には、事業者による人材確保や生産性向上などの取組のほか、施主や元請け、荷主などの理解と協力が進むことが不可欠となる。影響の大きい本県においても、業界内で早期に足並みを揃えた対応が期待される。

4月より建設業や運輸業などにおいて、働き方改革関連法に基づく時間外労働の上限規制が適用開始となった。今回の適用開始に伴って、原則として建設業では月45時間・年360時間が、運輸業では年960時間が時間外労働時間の上限となる。総労働時間が現在よりも短くなることで、「2024年問題」と呼ばれる人手不足の深刻化などが進むことが懸念されている。

千葉県の建設業における23年の年間受注高は約2.2兆円と全国で10番目に大きい(図表1)。また、運輸業における年間貨物流動量は約2.7億トンで2番目に多い(図表2)。両業界への上限規制の適用は千葉県経済にとって影響は小さい。

県内における22年の平均月間時間外労働時間(厚労省統計)は、建設業が13.1時間、運輸業が17.1時間と全産業平均(9.0時間)に比べて長い(図表3)。また、有効求人倍率(2月)は、建設業5.97倍、運輸業1.79倍と人手不足感が強い(全産業平均0.93倍、図表4)。両業界では長時間労働が常態化しており、人材の確保や業務効率の改善などに苦心している様子が窺われる。

長時間労働の背景には、建設業における工期遵守や運輸業における荷待ち時間・荷役への対応などがある。政府も「建設工事における適正な工期設定等のためのガイドライン」(18年)や「物流革新に向けた政策パッケージ」(23年)などを示し、労働の適正化を促してきたが、これまでのところ大きな成果は挙げていないとされる。今回のような劇的な環境変化は、半ば強制的に事業者を含めた関係主体の背中を押し、本格的な構造改革を促す契機になるのではとみる向きもある。

かかるなか、県内では、人手不足の深刻化を見越して、人材確保や生産性の向上などで先手を打つ企業もみられる。船橋市の建設業(株)将栄では、週休二日制を導入したほか、資格取得のための奨励制度も整備して社員の定着率向上を図っている。また、八街市の運輸業菱木運送(株)では、独自の運行管理システムを導入して、会社が各車両の配置状況を把握したうえで、ドライバー等に対して最適な運行を指示する運用を開始した(図表5)。

2024年問題に係る建設・運輸業界の負担軽減には、事業者による人材確保や生産性向上などの取組のほか、施主や元請け、荷主などの理解と協力が不可欠となる。4月から上限規制が適用され、「待ったなし」の状況になっているなか、本県においても、業界内で早期に足並みをそろえた対応が期待される(竹津)。

【図表1】年間建設受注高(23年)

都道府県	建設受注高(百万円)
1 東京都	39,482,228
2 大阪府	12,180,533
3 愛知県	5,820,709
4 福岡県	4,095,848
5 神奈川県	3,940,510
6 北海道	3,611,300
7 埼玉県	2,912,753
8 兵庫県	2,663,838
9 新潟県	2,339,521
10 千葉県	2,223,189
全国	111,068,105

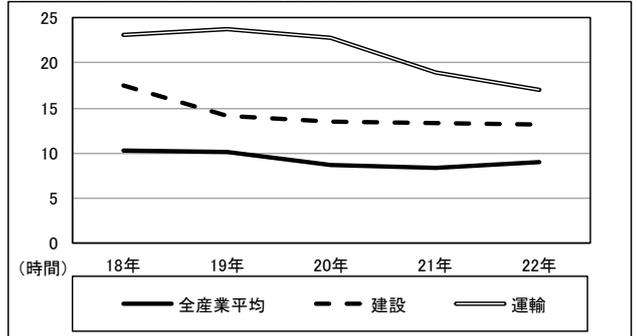
(出所)国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

【図表2】年間貨物流動量(23年)

都道府県	貨物流動量(万トン)
1 愛知県	36,087
2 千葉県	27,258
3 神奈川県	26,757
4 大阪府	23,840
5 北海道	22,213
6 兵庫県	21,661
7 福岡県	21,378
8 茨城県	19,066
9 埼玉県	16,965
10 岡山県	16,430
全国	456,301

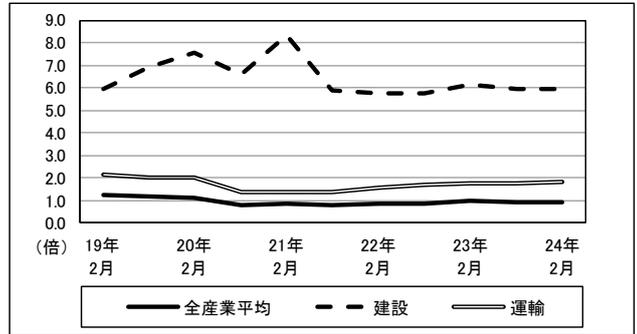
(出所)国土交通省「全国貨物純流動調査」

【図表3】県内の時間外労働時間(月間)の推移



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」

【図表4】県内の有効求人倍率の推移



(出所)厚生労働省「最近の雇用失業情勢」

【図表5】県内企業の取り組み事例

企業名	所在	業種	取り組み内容
㈱将栄	船橋市	建設	定着率アップに向けて、週休二日制の導入など就業規則を見直したほか、社内規定を浸透させるためのルールブックづくりやスキルアップのための資格取得奨励金の支給などに取り組んでいる
㈱ティーエスケー	船橋市	建設	多様な人材を活用するため、障がい者や高齢者、女性の積極的な雇用・採用を実施しているほか、勤怠システムの導入による適正管理や産業医との連携による社員のストレスチェックなどにも取り組んでいる
菱木運送(株)	八街市	運輸	時間外労働の削減に向けて、独自の運行管理システムを導入。ドライバーや管理者に対して出退勤や休憩、運行状況をリアルタイムでアナウンスするシステムで、安全性の向上や待機時間の削減などに繋がっている
京成タクシー-松戸東(株)	松戸市	運輸	労働時間の適正管理を図るため、集計・分析に関するRPAツールを導入。配車システムやアルコールチェッカーと連動させ、ドライバーの労働時間や安全運行を把握・管理することが容易になった

(出所)千葉県「働き方改革ポータルサイト」、厚生労働省「働き方改革 特設サイト」、他HP